

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します
取組1	市民総参加で子育て環境の充実
取組の目的	家庭、地域、企業、行政が連携・協力し、市民総参加で子供・子育てを応援します。

現状と課題	◎共働き世帯の増加や女性の社会進出による保育需要の高まりに加え、計画的・継続的に実施してきた認可保育所などの新設により潜在需要が喚起され、保育所ニーズが増加する傾向にあり、待機児童解消には至っていない。 ◎子ども・子育て関連3法による児童福祉法の改正により、放課後児童クラブの受入対象年齢が小学6年生まで拡大されており、平成31年度までに受入体制を整える必要がある。
-------	--

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	保育所待機児童数 (平成29年4月1日現在) (人)	目標値	-	-	0	0	0	0.0%
		実績値	30	25	27			
2	放課後児童クラブの定員 (人)	目標値	-	-	805	1,061	1,141	100.0%
		実績値	805	805	835			
3	地域住民による子育て広場の 実施箇所数 (箇所)	目標値	-	-	2	2	4	100.0%
		実績値	1	1	2			
4	母親クラブ等子育て支援団体の 数 (団体)	目標値	-	-	8	8	10	75.0%
		実績値	8	6	6			
5	保育コンシェルジュの人数	目標値	-	-	2	2	3	50.0%
		実績値	1	1	1			
6	「男女共同参画社会づくり宣言」 宣言事業所数 (事業所)	目標値	-	-	38	41 55	50 70	100.0%
		実績値	30	39	49			
								70.8%

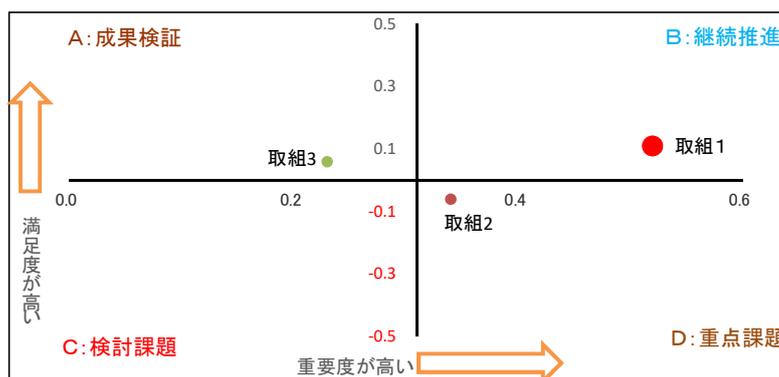
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	保育所待機児童数(平成29年4月1日現在)(人)	27	0	0	5	0	-
2	「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数 「県男女共同参画課ホームページ平成29年5月現在」(事業所)	49	39	147	48	14	-
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.52				
満足度	0.11				

### 政策1 重要度と満足度の評価マトリクス



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に重点化する事業
		H28年度実績額	H29年度予算額	H30年度予算の方向性	

##### 基本方針(1)子どもを産み育てる環境の整備推進

地域子育て支援システム運営事業	すこやか子ども課	930	780	継続	
中央子育て支援センター運営事業	すこやか子ども課	38,185	40,120	継続	
親子交流広場運営事業	すこやか子ども課	3,946	4,465	継続	
中央子育て支援センター一時預かり事業	すこやか子ども課	4,568	4,568	継続	

##### 基本方針(2)子どもにとって良質な教育・保育の提供

(仮称)袋井南認定こども園施設整備事業	すこやか子ども課	0	0	拡充	◎
笠原こども園施設整備事業	すこやか子ども課	339,791	110,540	縮小	
民間保育所運営費補助事業	すこやか子ども課	1,250,524	1,370,884	継続	
地域型保育事業	すこやか子ども課	111,131	191,084	継続	

##### 基本方針(3)すべての子どもの育ちを支える環境の整備

放課後児童クラブ専用施設整備事業	すこやか子ども課	125,474	71,800	拡充	◎
放課後児童クラブ運営事業	すこやか子ども課	102,122	135,856	継続	
子ども支援トータルサポート事業	育ちの森	8,285	8,359	継続	
児童発達支援事業	育ちの森	13,173	18,618	継続	

##### 基本方針(4)子育てと仕事の両立の支援

男女共同参画プラン推進事業	市民協働課	593	604	継続	

##### 基本方針(5)子育て世帯の不安の解消

家庭児童相談室運営事業	しあわせ推進課	3,558	3,573	継続	
子ども医療費助成事業	しあわせ推進課	387,611	391,565	継続	
母子家庭等医療費助成事業	しあわせ推進課	15,125	15,843	継続	

##### 基本方針(6)子どもの安全の確保

家庭児童相談室運営事業	しあわせ推進課	3,558	3,573	継続	

#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎子育てアプリによる情報の発信や医療費の助成、子育て広場の充実などに努め、市民意識調査による結果では、取組に対する満足度は高い結果となった。一方、待機児童の解消については、保育所及び小規模保育施設新設への支援など定員の拡大に努めてきたが、保育所申込者数の増加により、待機児童は前年度より2人増え、27人となっており、対策が必要である。 ◎放課後児童クラブの施設整備については、小学6年生までの受入に向けて、計画的に整備を進めている。	H28の評価	一部に改善を要する
II. 28年度に取り組んだ内容	◎本市初となる公立認定こども園「笠原こども園」や、民間認可保育所「めいわ月見保育園」、民間小規模保育施設3園が平成29年4月に開園し、定員が119名拡大した。 ◎放課後児童クラブの受入児童の対象学年の拡大と利用者数の増加に対応するため、施設拡充に取り組み、266人の定員拡大に努めた。		
III. 今後の展開方向	◎待機児童の解消に向け、保育施設の誘致及び(仮称)袋井南認定こども園の整備に取り組むとともに、就学前の子どもへの教育・保育のあり方について方針を決定し、具体的に進めていく。 ◎放課後児童クラブについては、子ども・子育て支援事業計画に基づき、小学6年生までの受け入れに向けて、施設整備を計画的に推進する。		

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します
取組2	未来に輝く若者の育成
取組の目的	国際社会や地域社会で活躍する、心ゆたかでたくましい若者を育てます。

現状と課題	◎児童生徒の学習意欲の低下や、学習のつまずき等を抱えたままでの進級、進学、不登校等の課題が生じている。また、国際競争の激化や情報通信技術が大きく進展し、将来を展望しにくいと言われる新しい時代を生き抜くためには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造するための基礎的な力が求められている。そのため、幼小中一貫教育の導入により、英語力の向上やICT教育等、これからの時代に対応するための教育に取り組む必要がある。
-------	--

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合(小6・中3)(%)	目標値	—	—	83.5	85.0	90.0	97.2%
		実績値	80.0	79.5	81.2			
2	全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合(小6・中3)(%)	目標値	—	—	75.0	75.0	100.0	100.0%
		実績値	50.0	10.0	100.0			
3	新体カテストで全国平均を上回る種目の割合(小5・中2)(%)	目標値	—	—	82.0	84.0	90.0	63.4%
		実績値	78.0	56.0	52.0			
4	教育施設大規模改修等の実施(施設数)(箇所)	目標値	—	—	2	2	3	100.0%
		実績値	1	1	2			
5	学校給食における市内産野菜の使用率(重量ベース)(%)	目標値	—	—	33.5	37.0	40.0	82.4%
		実績値	24.1	26.2	27.6			
		目標値	—	—				88.6%
		実績値						

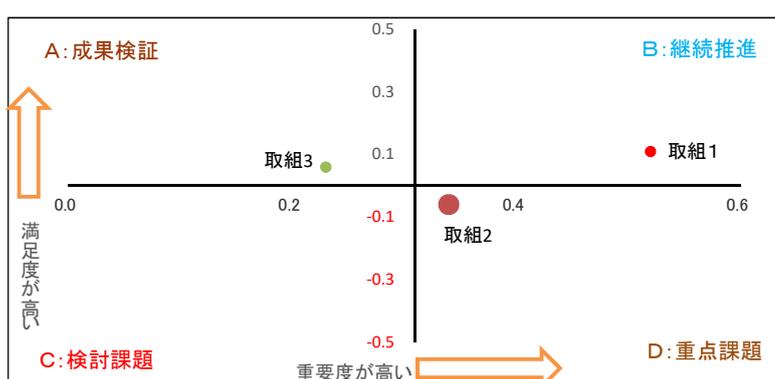
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.34				
満足度	-0.1				

### 政策1 重要度と満足度の評価マトリクス



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に重点化する事業
		H28年度実績額	H29年度予算額	H30年度予算の方向性	
<b>基本方針(1)ゆたかな心を育む教育の推進</b>					
グローバルコミュニケーション力向上事業	学校教育課	1,694	2,800	継続	
英語力向上事業(小学校・中学校)	学校教育課	26,049	34,774	拡充	◎
国際理解教育推進事業	学校教育課	177	87	縮小	
<b>基本方針(2)確かな学力を育む教育の推進</b>					
ICTを活かした先進教育推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	8,750	10,599	拡充	◎
学力向上対策事業(小学校・中学校)	学校教育課	4,360	5,893	継続	
<b>基本方針(3)健やかでたくましい体を育む教育の推進</b>					
食育推進事業	健康づくり課	4,256	3,569	継続	
生徒健康診断事業	学校教育課	4,746	4,900	継続	
<b>基本方針(4)子ども一人ひとりを大切にしたい支援の充実</b>					
いじめ・不登校等未然防止事業(小学校・中学校)	学校教育課	6,361	12,848	継続	
特別支援教育推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	52,661	51,073	継続	
子ども支援トータルサポート事業	育ちの森	8,285	8,359	継続	
<b>基本方針(5)地域とともにある学校づくりの推進</b>					
地域とともにある学校づくり推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	0	5,400	継続	
元気な学校づくり推進事業(小学校・中学校)	学校教育課	5,975	0	廃止	
<b>基本方針(6)質の高い教育環境の整備</b>					
袋井北小学校校舎増築事業	教育企画課	17,365	341,929	縮小	
周南中学校校舎増築事業	教育企画課	15,568	439,767	縮小	
笠原こども園施設整備事業【再掲1-1-(2)】	すこやか子ども課	339,791	110,540	縮小	

#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎袋井版学力・学習状況調査を導入した検証改善システムが少しずつ機能してきたことや、授業改善や教師の力量向上に向けた対策を進めてきた結果、平成28年度全国学力・学習状況調査では、全科目で全国平均を上回ることができた。 ◎新体力テストの結果では、小学校5年生については男女とも全国平均を下回る種目が多い結果となってしまった。中学2年生については、男女とも全国平均を上回る種目が半分以上となり、小学生の体力向上への取組が必要である。	H28の評価	一部に改善を要する
II. 28年度に取り組んだ内容	◎学力向上に向けて、講師を招へいしての研修会や授業力に優れた教員による若手教員への指導助言など、授業改善に向けた取り組みを進めた。また、ICT環境の整備やイングリッシュデイキャンプ、英検チャレンジ事業に着手し、417名の小中学生が英検にチャレンジした。 ◎義務教育9年間を通して継続的な教育課程を展開するため、袋井市幼小中一貫教育基本方針を策定した。		
III. 今後の展開方向	◎これからの時代は、国際競争の激化や、情報通信技術が大きく進展し、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて主体的に判断し、新たな価値を創造するための基礎的な力が必要となる。そのため、幼児期の教育・保育から小学校・中学校までの教育の連携を強化する幼小中一貫教育を推進するとともに、英語教育やICT教育に取り組んでいく。 また、体力向上では、学校全体の取組として計画的に体力づくりに取り組む。 ◎教育施設の老朽化対策では、浅羽中学校の大規模改修など、計画的に改修、修繕に取り組んでいく。		

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策1	子どもがすこやかに育つまちを目指します
取組3	教養ゆたかな人づくり
取組の目的	人や社会に貢献する人づくりを推進するとともに、市民の主体的な生涯学習活動を支援します。

現状と課題	◎生涯学習や文化・芸術の振興は個人レベルの成長を促すだけでなく、まちづくりの観点からも有効な手段であるという認識が広まっている。これまでの生きがいづくりや楽しく学ぶ学習活動に加えて、生涯学習の推進を通じて人や社会とのつながりを深め、学んだ成果を周囲の人々や地域で活かしていくことで、地域社会全体の活性化や発展につなげる取組が求められている。
-------	--

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	徳育推進協働事業への参加者数(人)	目標値	—	—	800	850 4,000	1000 4,000	100.0%
		実績値	420	885	3,733			
2	公民館の利用者数(人)	目標値	—	—	360,000	365,000	380,000	94.8%
		実績値	351,042	341,191	341,312			
3	月見の里学遊館(水玉プール除く)とメロプラザの利用者数(人)	目標値	—	—	180,000	185,000	200,000	86.2%
		実績値	169,643	170,141	155,186			
4	図書館の資料貸出点数(点)	目標値	—	—	560,000	570,000	592,000	94.4%
		実績値	531,652	534,149	528,412			
5	図書館の個人貸出利用者数(人)	目標値	—	—	131,000	135,000	150,000	99.4%
		実績値	124,920	128,728	130,201			
		目標値	—	—				95.0%
		実績値						

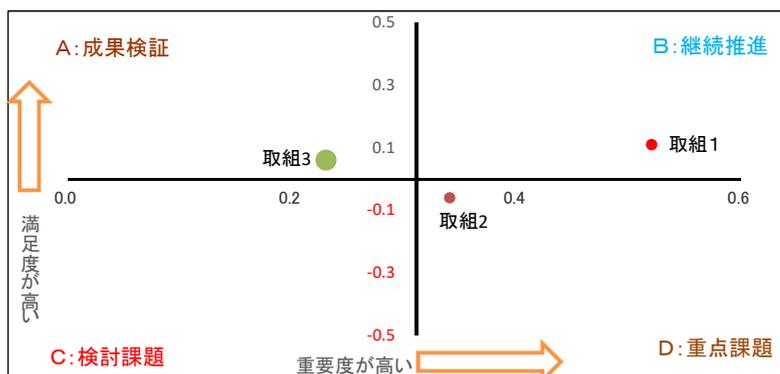
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	図書館の資料貸出点数(人口1,000人当たり)(点)「平成28年度静岡県図書館」(H27実績)	6,127	7,778	7,273	6,528	4,807	5,920
2							
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.23				
満足度	0.06				

### 政策1 重要度と満足度の評価マトリクス



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に重点化する事業
		H28年度実績額	H29年度予算額	H30年度予算の方向性	

##### 基本方針(1)徳育の推進

徳育推進事業	教育企画課	157	266	継続	

##### 基本方針(2)生涯学習活動の充実

市民のITリテラシー向上推進事業	生涯学習課	0	500	継続	
グローバルコミュニケーション力向上事業	生涯学習課	0	2,000	継続	◎
市民映画普及事業	生涯学習課	0	1,200	縮小	

##### 基本方針(3)社会全体が連携した青少年健全育成の推進

青少年育成事業	生涯学習課	1,156	1,165	継続	
少年地域交流事業	生涯学習課	405	633	継続	
少年補導センター運営事業	生涯学習課	1,221	1,640	継続	

##### 基本方針(4)図書館機能の充実と読書活動の推進

図書館運営事業	生涯学習課	15,560	15,938	継続	
ブックスタート事業	生涯学習課	1,223	1,842	継続	
図書館蔵書充実事業	生涯学習課	25,278	23,466	継続	



#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎徳育推進協働事業への参加者数については、「ありがとう広め隊」と協働で幼稚園・保育所・小中学校や高齢者学級を訪問し、多くの市民と協働により徳育を推進した。 ◎市民映画の製作では、映画制作ワークショップに参加する小中学生を募集し、ワークショップを開催。また、池田監督によるドキュメンタリー映画の撮影を行い、映画『Magic Town』が完成した。	H28の評価	概ね順調
II. 28年度に取り組んだ内容	◎月見の里学遊館では、生涯学習棟の天井落下等防止対策工事を行うとともに、うさぎホールや各種ワークショップ、公園を活用した事業等を実施し、市民ニーズに合った事業を展開した。メロプラザでは、メロプラフェスタやスキルアップ講座の企画運営、舞台操作、広報活動等を行ったことで、利用者数が増加した。		
III. 今後の展開方向	◎市民映画のPRでは、市民向けの上映会の開催や映画祭への出品を行う。また、映画館や県など関係機関へPRを行い、市内外への上映会へとつなげる。 ◎市民を対象とした「学び直しの場」などを創出することで、まちの国際化に向けた英語力の向上やICT機器のスキルアップ講座を実施し、未来を支える地域人材を育成する。 ◎公民館をコミュニティセンターに移行した後も、社会教育、生涯学習活動を継続して実施し、地域における人材育成を支援する。		